

クリスマスなどをぶっとばせ！～出勤！サンタGメン 生き物を救おうの巻～

目 概要

コンビニエンスストアやスーパーから廃棄物として排出される大量のうな丼や恵方巻、クリスマスケーキなど...これらは製造・卸過程でも売り上げ利益を重視した発注により廃棄物を増やしています。

また店舗従業員など末端労働者に対する自爆営業強要も問題になっております。末端店舗の廃棄分に対する負荷も大きい。そのため、日本にて行われる食品系イベントで廃棄物が多くなりがちなものの食品製品廃棄を禁止してしまえばどうか、というのがこのアイデアです。

対象となる食品系イベントは次の通り。基準はイベント該当日後に喫食する意義が著しく損なわれるものであり店舗からの廃棄量が多いもの。

- ・クリスマス
- ・節分
- ・バレンタインデー
- ・ホワイトデー
- ・土用の丑の日

お盆の精霊馬や正月の鏡餅などは儀礼的な意味をもち祭礼後も通常消費に回せるため該当しない。

また冬至のかぼちゃ等に関しては特定日を過ぎても通常消費に回せるため該当しない。

まず手始めに直近にて行われるクリスマス。本来はキリスト教の祭礼であり食物に敬意を表するものであるはずですが。

しかし日本では企業利益の追求に重点を置かれケーキやチキンを食べる日とイメージづけられて久しいです。廃棄物も多い。これはまったくサステナブルな行為とは言えません。廃棄物のほとんどは生き物だったものです。

配送や物流に対する負荷も特定日直前に急増します。現代のトナカイ配達員さんも死にそうです。

高度成長期のような余裕のある時代には良かったのですが、現代のような経済活動がシュリンクしていく局面ではあまりにも贅沢と言わざるを得ません。

一人一人がやめたところで企業はどんどん購買欲を煽り生産数を増やし続けるでしょう。

企業は利益を上げることが至上命題であり性善説が通用しないため政府による介入が必要です。

しかし労基の動きを見る限り、公務員だけでできることは多くありません。

そこで「サンタGメン」の出勤です。お仕事はクリスマス以後。公務員とは別の雇用形態で雇われる100万人と、全国の有志がスマートフォンで報告を上げる違法廃棄ハンティング。

それぞれサンタ長から働きに応じてプレゼント（報酬）がもらえます！

政府による勇気ある決断と罰則事項の充実化を願ってやみません。

違反企業に対する罰則として事業停止や追徴課税・公社化などが考えられます。

目 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

課題は、食品に関するイベントを利益の最大化を至上命題にする企業活動に利用され、排出される廃棄物が局所的に激増することである。

廃棄物の日常的な増加はこのアイデアでは触れない。

目 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

利益を上げることが至上命題な企業による自浄作用には期待できないため、政府により法令による介入及び罰則を設ける。

以下の食品系イベントの特定日一か月前から一か月後まで、特定日に使用する事が前提とする食品製品の企業による廃棄を禁ずる。

また末端従業員・店舗に対し注文・買取の強要を行うことを禁ずる。

- ・クリスマス
- ・節分
- ・バレンタインデー
- ・ホワイトデー

・土用の丑の日

罰則規定

- ・包装部分含め300t未満の場合、該当企業の営業停止及び法人税の追徴課税（あなたがサンタになってね♪）
- ・包装部分含め300t超の場合、該当企業グループ含め全社廃業措置もしくは公社化
- ・従業員に対し注文の強要などを行った場合、強要罪（執行猶予なし）に加え注文金額の3倍の金額を追徴課税

 **類似（独創性）**：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

商材及び意義は違うが、廃棄物処理法が類似すると考えられる。そのものを廃棄すること自体は条件付きで認められている。

 **有意性**：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

 **実現方法**：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

まず監査員を公務員とは別枠で100万人雇用し、「サンタGメン」として専用業務端末を貸与、不法投棄チェック巡回を担う。産廃として処理された場合はマニフェストより追跡し該当する場合は全量計上。

更に一般消費者からもサンタGサポーターを募り専用スマートフォンアプリにて写真等情報を集め送信してもらう。

審査後貢献度によりサンタ長からキャッシュレスに変換できるポイントを得られる。

店頭や産廃処理場での確認は監査員のみでは不十分なため画像認識AIによる補佐を必要とする。

またSNS・HPなどの巡回業務をITで自動化することもできる。

最終的には店頭・投棄場での監査員現認による警察と連携した現行犯逮捕を原則とする。

監査員には大量の人手が必要なため公務員試験を免除し年単位で雇用する。氷河期世代の雇用対策としても期待される。

また、税務署と連携し廃棄隠しが無いか原料購入帳簿と突き合わせて調査を行う。

 **課題・障壁**：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

業界団体や経団連をはじめとする経済界からの拒絶反応や、商習慣を変えられない昭和に生まれた一部の中高年からの批判が想定される。

しかし食品ロスは地球規模の喫緊たる問題であり、生き物を大切にしないのは倫理的な問題でもある。将来資源が枯渇し該当の食品の入手が困難になることを考えてもらう施策が必要であろう。

また昨今食品原材料の高騰もあり、大量消費文化を再考するきっかけが業界企業にも求められていると考えられる（1社だけじゃ意味がない）

 **期間・コスト**：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

告知費用と100万人の監査員雇用・教育費用が必要となる。

また専用業務端末やスマートフォンアプリの開発・カスタマイズ・クラウド環境も必要となる。

また罰則が適用された場合遂行を監視できる要員や公社化手続きの費用も考える必要がある。

費用は追徴課税や公社化後の利益で賄うが、初期は税金の投入も必要と考えられる。

 **未来像**：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

該当の合成ではない食品が資源保護により3世代後も喫食できる未来。（化学物質で合成されたケーキなんて嫌だよな！）

サンタにより畜産物や農産物など「生き物」に感謝のできる未来。（牛さんや小麦さん、苺さんとも仲よくしよう！）

「女とクリスマスケーキは25まで」といった言葉が死語になる未来。（もうなってる？）